

# あくていぶ

運営管理者 十人十色

関係事業所紹介 三社三色

謹賀新年  
二〇二三

旧年中は社会福祉法人筍憩会の事業に  
ご理解ご支援いただき誠にありがとうございました

おかげさまで当法人は今年20年の節目を迎えることになります  
これもひとえに皆様方のおかげと感謝しております

これからも障がいをもたれた方にとって  
よりよい地域づくりを目指し職員一同一層努力して参ります

本年も変わらぬご指導ご協力のほど  
よろしくお願い申し上げます

# 運営管理者



コロナで社会が一変し…  
法人にとて大きな衝撃があり…  
それから月日が経った今、  
今後の筋道会をリードしていく  
運営管理者10名がそれぞれの思いを  
綴ってみました。

## 新体制を振り返って

新体制となり新たに法人が動き出してから、もうすぐ2年が経とうとしている。

今回、この約2年間で自分は何ができるだろうか、と考える機会をもらった。正直なところ蕨野さんのようなカリスマ性やリーダーシップは自分には備わっていない。

常に蕨野さんのように、「この人に任せとけば大丈夫」と思ってもらえるようになりたいと感じていた。今も、自分自身もそう言ってもらえるようになりたい、と思いながら日々過ごしている。ただ、自分の性格を考えると、先頭を走るタイプではなく、先頭を走る人の取りこぼしを拾っていく方（いわゆる二番手）が絶対に向いている。これまで当然のように蕨野さんがいて前を走っているところを全力でついていった。そう言うと、まだ聞こえもいいが。さて、その本題の2年間で何ができたか。

答えはそう難しくなく、実績は残せていない。しかしあつまでもそうは言ってられない。今まで自分ができていなかったこと、例えば日本の情勢はどう変わっていくのか、地域のニーズは何なのか、筋道会の進む方向はどこなのかななど、課題はたくさんあるが、「永遠の二番手」と言われることのないよう、自分自身が先頭に立って、まずは法人の今後の展開を提案していくようになりたいと思う。

## 筋道会丸と北極星

Tomoaki SHIZUKA

グループホーム（GH） 静 智明

筋道会丸がその船長を失ってからはや2年の月日がたった。船長は海図とコンパスを片手に、どんな荒波がこうとも船の舵を取り続け航行を維持させてきた猛者であったがために、船長を失った船員たちのこの2年間の舵取りは大変なものであった。しかし、徐々にではあるが、新しい航海のかたちが生まれようとしている。そんな筋道会丸の現在地について私個人の考えをお伝えしたい。筋道会では長年の間、船長であられた蕨野さんが法人の組織体制及び運営の方向性を決定してこられたのは周知のことだろう。そんな蕨野さんを失ったことで私につきつけられたことは、法人としての目指す先（組織としての北極星）が全く見えなくなった、いや、蕨野さんの目にはしっかりと映っていたその北極星が私の目にはそもそも見えていなかったという厳然たる事実であった。こう感じた者は決して私一人ではないはずだ。理念、バーパス、ミッションなどなど、呼び名は何であれ、組織の北極星を残された者たちで見出すことが急務となったものの、この2年間は目の前の支援に追われる日々が続き、新たに北極星を見出す取り組みそのものは、その必要性は認識されてはいたものの、進むことはなかったように思う。しかし、今その現状が変わろうとしている。その第一歩が、小川さんのリーダーシップのもと目下進められつつある法人理念の再定義作業である。<ぼじていぶ><あくていぶ><くりえいていぶ>という三つから構成されている法人理念は、その意味についてこれまで必ずしも明確化されてこなかった。その理由はおそらく、この法人理念を文字通り日々体現しておられた蕨野さん自身、私たちにその意味を言葉でもって明確には語ってこなかったから、そして、私たち自身もそれを積極的に聴いてこなかったからだろう。新たにその命を吹き込まれることになる私たちの北極星は、果たしてどのような輝きを放つのだろうか。

So many men,

## 2022年グループホーム（GH） を振り返って

Eisuke HIRONO

グループホーム（GH） 廣野 永典

2022年は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染予防と対策に追われた1年でした。現在2つのGHに28名の利用者が入居しており、職員は10名が勤務しています。基本的な対策（毎日の体温確認、検温、アルコール消毒、手洗い、マスク着用、三密を避ける等）は行っていますが、今でも誰がいつ感染してもおかしくない状況です。感染者が出ても被害を最小限に留める事、クラスター（集団感染）にならないよう落ち着いて行動する事、予防と対策を引き続き取り組んでいきます。蕨野さんはよく「人は人財。人財を大事にせなあかん。メンバー（利用者）も、職員も、仕事で関わった人は、みな人財。困っている人がいれば助ける。そうすれば自分が困った時、助けてくれる人がどこからか現れる。そんなもんよ。」と言っていました。

コロナの脅威だけに焦点を当てず、コロナによって見えてきた事、本当に大事にしないといけない事、「人（人財）を大事にする」という事は忘れず、物事を多角的に考えられるよう自己研鑽していくことを思います。

## 新生筋道会丸、航路を行く

Ayako HASUO

らばるて 蓮尾 礼子

筋道会丸のスーパー船長こと蕨野さんの急逝から約2年、どうにか法人を存続できていることにまずは感謝申し上げたい。残されたクルー一人一人の踏ん張りと多方面からのお力添えなくしては、どこかで沈没していてもおかしくない状況だった。それほど船長の存在は絶大であり、絶対的だったと思っている。

船長を失って残された私たちで舵取りをしなければならなくなったら、皆それぞれに自分の責務とできることは何かを自らに問うたのではないかと思う。そして、責務の重さとできることの少なさに打ちひしがれたのは、たぶん私だけではないと思う。これまでスーパー船長に甘えて頼って任せていたあらゆる役割は、本来誰か一人だけが背負うものではなかったかもしれない。二代目船長のもと一人一人の持てる力を集結し、少しずつ役割分担が整いつつあるように思う。打ちひしがれていてもどうにもならないので、腹をくくってやるべきことをやるしかないのだ。大切な乗客を道連れに幽霊船になるわけにはいかない。私の目下の課題は、任された事業の今後の展開と、法人全体の人材育成・人材確保のシステム構築かな、と（勝手に）思っている。特に、以前蕨野さんと約束した人事考課システム導入については、時間がかかるかも知れない。

## 相談支援を受け継いで

Yoshiko HORIUCHI

相談支援 堀内 喜子

蕨野さんが亡くなり2年近くが経とうとしている。あの頃の記憶がないほど気持ちが落ち込んだ。このまま筋道会はどうなるのか、蕨野さんがいない中で委託相談ができるのか、自問自答した。しかしとにかくやるしかないと気持ちを切り替え、この2年を過ごしてきたように思う。

将来の福祉情勢を見据えてどう運営していくのか、利用者支援への厳しい助言を受けたことも今では懐かしい思い出である。医療機関を始め関係機関に信頼も厚かった蕨野さんに、もっと教えてもらいたかったと思う。

地域での生活が難しい、生活に困った方が最初に関わるのは相談支援であり、そこから支援は始まる。やっとの思いで相談に来られた利用者の方に寄り添い、支援を行うことで喜んでもらえたりすると、反対に自分自身がパワーをもらい、やりがいになり、この仕事が継続できているのだと思う。勉強不足で「やめたい」と思うこともあるが、蕨野さんに「頑張っているな。でも、まだまだ俺の足元にも及ばんな（笑）」と・・・と思ってもらえるようこれからも精進したいと思います。

So many minds.



JYU-NIN  
TO-IRO

**基本を大切に**

Shuhei HASHIMOTO  
相談支援 橋本 周坪

2020年1月に国内で初めて新種のウィルスであるコロナウィルスの感染者が発生し、もうすぐ3年が経過しようとしています。その後、コロナウィルス流行前と私たちの生活は一変しました。その後、現在では、この厄介なウィルスへの感染防止に対する最も基本的で、効果的で、ポピュラーな方法の一つとして、「マスク」を着用することが日常となりました。「マスク」の歴史について調べてみると、大正の時代から始まっているそうです。にしても、マスクは、随分と長い年月(時代)を乗り越え、生き残ってきたのだなあと思います。目まぐるしく様々なことが短期的に変化していく時代にもかかわらず、大正時代に生まれた物が、「最も基本的で、効果的で、ポピュラーな方法」として採用されているには、ちゃんと理由あるのだと思います。ということで、今後は、「基本」を大事にしていきたいと思います。

**法人事務局より愛をこめて**

Akiko INABA  
法人事務局 稲葉 亜紀子

昨年4月に法人事務局が設立され、法人事務局長という新たなポジションに就きました。法人設立のタイミングで、福祉について右も左もわからない私が事務員として雇用され、2016年からはあるべじおの所長を務めさせてもらいました。利用者が増え、市脇の分室の立ち上げにも奔走し、5年間があっという間に過ぎたタイミングでの蕨野氏の訃報。現実を受け入れられないまま、とにかく管理職5人を中心に職員みんなで奮闘した2年でした。私は、法人設立以降あるべじおに在籍している唯一の職員で、これまでご縁のあった利用者さんのこと、これまでのあるべじおのことを知り尽くしており、“あるべじお愛”は誰にも負けないと自負していましたし、今でもそう思っています(笑)。ですので、あるべじおの所長としてはまだまだ半人前で課題もたくさんありましたが、目標や計画もしっかり持っていました、そんな志半ばでの異動は、なんとも複雑な心境でした。しかし、蕨野氏不在の箇憩会、これから職員一丸となって法人・施設運営に取り組んでいくために土台固めは急務だと思い、二足の草鞋の一足は同じ志を持ってくれている現所長の松岡に託しました。私一人の力では土台固めなんて烏滸がましいですが、日々目まぐるしく変化する社会の流れをしっかりとつかみ、何が起こっても箇憩会は大丈夫、利用者さんが安心して利用でき、職員も安心して業務に専念できる、そんな組織作りの一端を担えるようにこれからも尽力していくたいと思います。

**おもいのバトン**

Shoto MATSUOKA  
あるべじお 松岡 星翔

新体制でスタートし、それぞれが只々必死に次々起こる出来事に向き合い、振り返る余裕もなくなんとか踏ん張ってきたように思います。絶対的なリーダーを失い、みんなで力を合わせて乗り越えていかないといけない中、自分があるべじおの所長を担っていくのか?と躊躇しました。法人事務局長が先に腹をくくられ、渡された思いの詰まったバトン(相当重かったです)、自分も腹をくくってやるしかないと決めた日から、「自分らしく自分に出来る事を精一杯やる!」精神で必死に突っ走ってきました。きっと蕨野さんが居たら怒られているな、というエピソードがいくつあったことか…。それでも関係機関の皆様、利用者さん、職員に助けて頂きなんとかここまでやってこられたとに感謝しています。

これからも利用者さんと真摯に向き合い、一人一人が安心して生活していくように、職員も安心して楽しく働き続けてもらえるように、あるべじおはもちろん、箇憩会に関わって頂くすべての人へ感謝の気持ちを忘れず日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

**部署ごとから箇憩会全体へ**

Emiko MATSUMOTO  
あるべじお 松本 恵美子

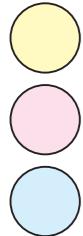
入職してしばらく経った頃、日々の支援の中で感じた疑問やわからない事について、自部署内だけでなく他部署の職員や先輩方にも意見を聞いてみたいと思っていました。箇憩会には通所(就B・移行)・GH、相談、就業等多岐にわたる事業があり、それぞれの知識や経験、専門性により、より広い視野で利用者さんにとって最善の方向、解決策を探していくことが出来るのではないかと思ったからです。また、福祉に明るいわけでもない自分がアセスメントする事の怖さのようなものもどこかで感じていました。蕨野さんは生前、遠慮なく誰にでも聞いたらいいと言ってくれましたが、出来事だけをとらえて説明するのも私には難しく思われ、実現はできませんでした。その頃は、個人的には、各部署報告もどちらかというと部署間の比較が強く出ていたように記憶しています。しかしその後、運営管理者による組織体制検討委員会ができ、互いに自分ごととして他部署のことを考え、箇憩会全体という視点を得て、法人としてどう動くのかを話し合っていくうちに部署間の距離は縮まり、結束も強まって、よりまとまって来たのではないかと感じています。これからも利用者さんにとってより良い箇憩会であるように、職員一同精進してまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

**振り返り、  
そしてこれからの箇憩会**

Kensuke OGAKI  
伊都障がい者就業・生活支援センター 大垣 賢介

もう2年も経つのか…。振り返ってもこの2年間のことは曖昧というか、はっきり覚えていないくらいである。この圏域にとって開拓者である法人のリーダーが突然逝ってしまい、悲しみに浸る暇もないまま、「なんとか法人を守っていかなければ…」というその一心だった。攻撃力が極端に失われた箇憩会には、とにかく守備固めの必要性を真っ先に感じた。その思いで耐えた1年。なんとか元の軌道に戻そうとした1年。それでもなお失った攻撃力は大きく、たくさんの関係機関のご協力のもと、なんとか保たせて頂いている。この場を借りて皆様には御礼申し上げます。法人にとって(私個人にとっても)絶対的後ろ盾を失ったことにより、突き付けられた課題は大きい。しかし、結束力も強くなったように思う。これまで「なんとかしてくれるだろう」と思っていたことも、管理職を中心にこまめに話し合い「なんとかしなければ」という意識に変化した。法人運営や各事業運営も職員全員がしっかりと協力していく体制をさらに整え、一人一人が責任感を持ち、“新生箇憩会”を強固なものにする。そのためにも自分にできること、自分の役割を遂行していくたい。ネットワークを大切にし、謙虚を忘れることなく、日々言われ続けた“リスクマネジメント”をしっかりと考えながら…。





## 01 寺本紙器株式会社 [ あるぺじお ]

弊社は和歌山県橋本市高野口町で昭和18年に創業し、ダンボール製品・白ボール台紙などの製造販売を行っています。一般的な梱包箱から、最近ではデジタル印刷によるフルカラーの化粧箱やモニターホルダー、陳列台などの段ボール製の大型什器も手掛け、地域だけでなく広範囲のお客様に届けられるよう心がけています。もともとは、地域の地場産業である織物や割り箸関係の梱包箱を中心に箱作りしていましたが、新しい機械を導入したことでの幅広くお客様の需要を受け入れられるようになりました。ニーズにこたえられるよう導入した機械が人を呼び、人が仕事を呼び、ピーチ航空のチェックイン用什器の製作もお声がけしていただきました。日本のダンボールは、リサイクルが確立されており無駄なくリサイクルされているので地球にも優しく、人にも優しい、そんな身近でサステナブルなダンボールを使い、生活と共に未来へ歩み続けられる商品をこれからも作っていきます。

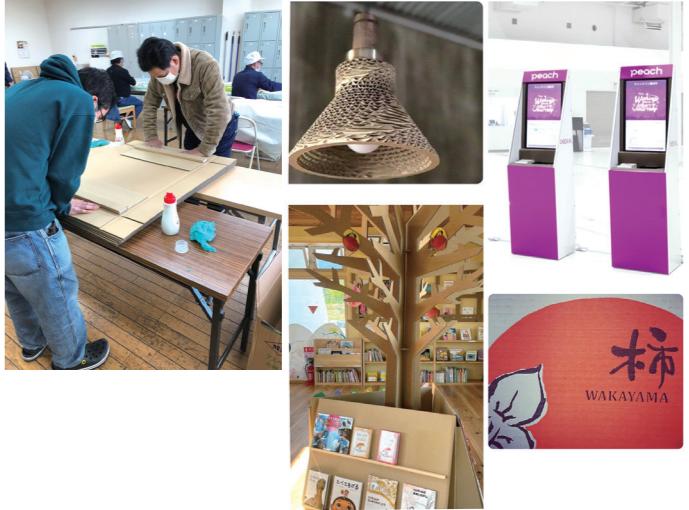
寺本紙器株式会社 代表取締役 寺本 忠司様

### 当法人との繋がり

梱包の仕事が入り、社員だけでは対応が難しくなり、生産性向上のため、どこか内職作業として部品作りをしてもらえるところがないかなと思い、声をかけさせてもらい作業して頂けることになりました。また、職場実習の受け入れ、施設外作業として、利用者さんが会社に来て真面目に仕事に取り組む姿を見て仕事の訓練がしっかりと出来ている、続ける力がついていることを実感し、1名の雇用につながりました。体力もあり、毎日真面目に仕事に取り組んでくれています。

### 今後、当事業所に期待すること

利用者の長所をみてあげて、どこかの会社で活躍できる、マッチできる仕事へつなげてもらいたい。利用者さんは、テクニックよりハートを大事にしてほしいなと思います。



## 02 原田織物株式会社 [ らぼるて ]

弊社はディッシュクロス・ランチョンマットの製造業者として昭和24年に創業しました。現在の仕事の9割は、問屋さん、メーカーさん、専門店さんのオリジナル商品を作らせていただいており、残り1割は自社製品としてお風呂のボディタオルや布巾、ハンカチ、春夏仕様のショール・ストールを生地から作って製品に仕上げて世に出すということをやっています。橋本・高野口の地場産業であるパイル織物に特化した会社ではなく、ちょっと異質なものを作っている会社と言えます。従業員は現在158名で、半分以上は地元の方、近年は隣町・近隣の県から、あとは海外からの実習生も来てくれています。社内158人だけで全てやっているわけではなくて、地域の内職さんや協力していただいている工場さん、外注さんに支えられており、それも合わせたら総勢300人ぐらいになります。

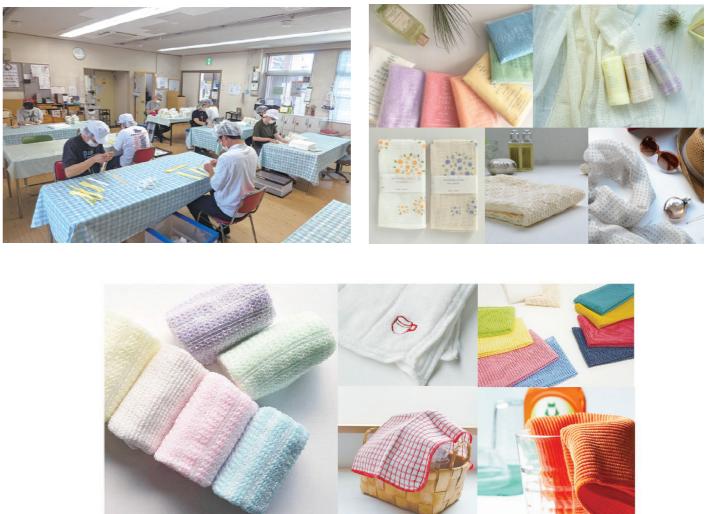
原田織物株式会社 製造部 生産統括マネジャー 小田 満様

### 当法人との繋がりと、今後、当事業所に期待すること

弊社社員の家族が筋弱会の職員さんというつながりで、内職作業を受諾できないかとの打診をいただき、お願いすることになったと聞いています。期待することは、未永くお付き合いいただければということにつきます。らぼるてさんでできることが今もどんどん増えていくているし、多少納期がタイトな作業も受けてもらえるので頼りになる存在です。複雑な工程のものも含めて今後もいろいろな作業をお願いしていくと思いま

### 障害者雇用について

弊社では障がいを持たれた方の雇用実績もあり、体験就労等もしてもらっています。業務は内職でお願いしているものとは違う内容になりますが、検品や簡単な縫製の機械を動かすといった仕事もあるので、機会があれば体験してもらったりいいのではないかと思います。



## 03 株式会社イワハシ [ わかば ]

弊社は1950年にしゅろ東子の製造メーカーとして創業。和歌山・海南地区的地場産業、家庭日用品の製造工場として70年以上となります。「顧客から常に信頼される商品作りの追求」を経営理念として、キッチン・ランドリー・バス・トイレの清掃用品を始め、プラスチック製食品容器から、産業用精密部品まで、多種多様なプラスチック製品をMade in Japan品質で製造しています。弊社の強みは何と言っても、単なる成形だけではなく、新製品などの企画開発、試作品作成から、金型作成、成形後の2次加工、組み立て包装、配送納品まで、一貫して対応できることです。また、オンライン製造工程を一括管理するシステムを導入するなど、次世代のニーズに応えられるように魅力ある会社づくりに努めています。

株式会社イワハシ 専務取締役 岩橋 宏幸様  
配送部門 藤岡 宏樹様

### 当法人との繋がり

社内一貫生産の為の組み立て、パッケージングなどの仕上げの部分を家庭内々職、社内仕上げ部にて貯っていたが受注量の増加と共に人手不足となり、担って頂ける事業所を探していた折り、7年前に紀の川市貴志川町の特定非営利活動法人ふきのとう(現プレイス)さんのご紹介でわかばさんにお願いする事になりました。以降、大きなトラブルも無く丁寧に作業していただいています。

### 今後、当事業所に期待すること

全国シェア80%を誇る和歌山・海南地区的家庭日用品の製造は、海外情勢も加味され国内製造にシフトしつつあります。その分、短納期、多品種少量生産が求められています。わかばさんには、できる限りどんな製品にも対応していただき、納期的にもご無理をお願いする事があるかと思いますが、宜しくお願ひ致します。



# 決算報告

第一号第一様式

## 法人単位資金取支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入 障害福祉サービス等事業収入 経常経費寄附金収入 受取利息配当金収入 その他の収入	18,140,000 205,901,423 0 0 75,000	22,464,037 195,119,654 100,000 23,016 1,010,987	△ 4,324,037 10,781,769 △ 100,000 △ 23,016 △ 935,987	
		事業活動収入計(1)	224,116,423	218,717,694	5,398,729	
	支出	人件費支出 事業費支出 事務費支出 就労支援事業支出	146,148,266 23,839,732 29,728,325 18,140,000	145,559,588 20,564,254 25,673,382 22,688,696	588,678 3,275,478 4,054,943 △ 4,548,696	
		事業活動支出計(2)	217,856,323	214,485,920	3,370,403	
		事業活動資金取支差額(3)=(1)-(2)	6,260,100	4,231,774	2,028,326	
	収入					
		施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出	固定資産取得支出	5,100,000	4,865,230	234,770	
		施設整備等支出計(5)	5,100,000	4,865,230	234,770	
		施設整備等資金取支差額(6)=(4)-(5)	△ 5,100,000	△ 4,865,230	△ 234,770	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入 その他の活動による収入	0 0	137,700 △ 25,000	△ 137,700 △ 25,000	
		その他の活動収入計(7)	0	162,700	△ 162,700	
	支出	積立資産支出 その他の活動による支出	650,100 1,810,000	2,044,800 50,000	△ 1,394,700 1,760,000	
		その他の活動支出計(8)	2,460,100	2,094,800	365,300	
		その他の活動資金取支差額(9)=(7)-(8)	△ 2,460,100	△ 1,932,100	△ 528,000	
		予備費支出(10)	1,500,000 △ 0	—	1,500,000	
		当期資金取支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,800,000	△ 2,565,556	△ 234,444	
		前期末支払資金残高(12)	0	78,972,083	△ 78,972,083	
		当期末支払資金残高(11)+(12)	△ 2,800,000	76,406,527	△ 79,206,527	

第二号第一様式

## 法人単位事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益 障害福祉サービス等事業収益 経常経費寄附金収益 サービス活動収益計(1)	22,464,037 195,119,654 100,000 217,683,691	17,752,703 191,119,967 5,000 208,877,670	4,711,334 3,999,687 95,000 8,806,021
	費用	人件費 事業費 事務費 就労支援事業費用 減価償却費 国庫補助金等特別積立金取崩額 徴収不能引当金繰入	147,853,413 20,564,254 25,673,382 22,464,037 6,044,507 △ 1,809,024 163,178	150,358,992 20,997,554 25,998,486 17,760,044 6,165,400 △ 2,646,379 493,807	△ 2,505,579 △ 433,300 △ 325,104 4,703,993 △ 120,893 837,355 △ 330,629
		サービス活動費用計(2)	220,953,747	219,127,904	1,825,843
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 3,270,056	△ 10,250,234	6,980,178
	収益	受取利息配当金収益 その他のサービス活動外収益 サービス活動外収益計(4)	23,016 1,010,987 1,034,003	12,003 606,822 618,825	11,013 404,165 415,178
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,034,003	618,825	415,178
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 2,236,053	△ 9,631,409	7,395,356
	特別増減の部	その他の特別収益 特別収益計(8) 固定資産売却損・処分損 特別費用計(9) 特別増減差額(10)=(8)-(9)	546,120 546,120 268,678 268,678 277,442	123,331 123,331 0 0 123,331	422,789 422,789 268,678 268,678 154,111
		当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 1,958,611	△ 9,508,078	7,549,467
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	100,114,602	109,622,680	△ 9,508,078
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	98,155,991	100,114,602	△ 1,958,611
		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	0	0	0
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	98,155,991	100,114,602	△ 1,958,611

# 筍憩会職員全員集合!!!

## 決算報告つづき

第三号第一様式

法人単位貸借対照表  
令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流动資産	89,476,415	114,361,851	△ 24,885,436
現金預金	56,784,230	69,446,101	△ 12,661,871
事業未収金	33,220,254	46,040,012	△ 12,819,758
貯蔵品	21,000	21,000	0
商品・製品	23,302	25,043	△ 1,741
原材料	422,737	159,931	262,806
立替金	0	47,814	△ 47,814
徴収不能引当金	△ 995,108	△ 1,378,050	382,942
固定資産	142,071,557	141,775,339	296,218
基本財産	39,394,364	41,360,553	△ 1,966,189
土地	15,427,448	15,427,448	0
建物	23,966,916	25,933,105	△ 1,966,189
その他の固定資産	102,677,193	100,414,786	2,262,407
建物	12,649,280	13,959,705	△ 1,310,425
構築物	859,601	1,013,244	△ 153,643
機械及び装置	1	1	0
車輌運搬具	8,831,387	6,445,450	2,385,937
器具及び備品	1,089,005	1,401,612	△ 312,607
権利	23,005	45,305	△ 22,300
ソフトウエア	888,014	1,119,669	△ 231,655
退職給付引当資産	15,870,900	0	15,870,900
退職共済預け金	0	13,963,800	△ 13,963,800
設備等整備積立資産	59,000,000	59,000,000	0
差入保証金	3,466,000	3,466,000	0
資産の部合計	231,547,972	256,137,190	△ 24,589,218
負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流动負債	19,425,957	42,027,844	△ 22,601,887
事業未払金	8,086,277	34,487,447	△ 26,401,170
未払費用	4,988,586	2,095,397	2,893,189
職員預り金	544,094	0	544,094
賃与引当金	5,807,000	5,445,000	362,000
固定負債	16,598,275	14,691,450	1,906,825
退職給付引当金	16,021,275	14,089,450	1,931,825
その他の固定負債	577,000	602,000	△ 25,000
負債の部合計	36,024,232	56,719,294	△ 20,695,062
純資産の部			
基本金	16,152,448	16,152,448	0
第1号基本金	16,152,448	16,152,448	0
国庫補助金等特別積立金	22,215,301	24,150,846	△ 1,935,545
その他の積立金	59,000,000	59,000,000	0
設備等整備積立金	59,000,000	59,000,000	0
次期繰越活動増減差額	98,155,991	100,114,602	△ 1,958,611
(うち当期活動増減差額)	△ 1,958,611	△ 9,508,078	7,549,467
純資産の部合計	195,523,740	199,417,896	△ 3,894,156
負債及び純資産の部合計	231,547,972	256,137,190	△ 24,589,218

あるぺじょ

[就労移行支援・就労継続支援B型事業]  
法人事務局



One for all All for one

一人はみんなのために みんなは一人のために

わかば

[就労継続支援B型事業]



わ わンダフル!  
か カインドネス!!  
ば ばイタリティ!!

障がい者地域生活相談センター



愛と思いやりをもって じっくり話を聞き  
一緒に考え 共に行動し 希望につなぐ

らぼるて

[就労継続支援B型事業]



扉 (la porte) を開けて  
自分だけの五線譜 (la portee) を描く、  
繋がりと安心のよりどころ。

グループホーム サンメゾン / ピア・サラ

[共同生活援助事業]



過ごしやすく、あたたかい、  
挨拶のできる  
GH (Good Home) を目指そう!

伊都障がい者就業・生活支援センター



働きたいあなたを  
サポートします (^ ^)/



それぞれの team color  
大切にしている思いを一言で…

# 社会福祉法人 筍憩会

## 後援会 入会のご案内

社会福祉法人筍憩会では、私たちの活動にご協力くださる  
後援会の会員の方を募集しております。  
会費につきましては、筍憩会で行われている各事業の運営費補助、  
広報誌「あくていぶ」の送付等に活用させていただきます。  
なお、ご入会いただいた方には、生しいたけ（1袋200g入り）をお届けいたします。  
お届けするしいたけは、あるペジオにて日々愛情を込めて育てているものです。  
是非、ご入会頂けますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

### 年会費

**1000円会員** …… 広報誌「あくていぶ」をご送付

**3000円会員** …… 広報誌「あくていぶ」& 年1回「生しいたけ」をご送付

**5000円会員** …… 広報誌「あくていぶ」& 年2回「生しいたけ」をご送付

詳しいお問合わせは、法人事務局（担当：稻葉）までご連絡ください。

TEL. 0736-33-3317 FAX. 0736-33-3318

### 編集後記

この度、法人内に広報部会が立ち上がり、部会長を担うことになりました。その部会長の無茶ぶりに3名の部員が見事に応えてくれ、新装創刊第一号を新年号として無事お届けできることを嬉しく思います。今年は、法人設立20周年を迎えます。これまで消極的だった对外向けの情報発信にも力を入れ、法人や各事業の活動の認知と理解を深めてもらえるようにしていきたいと思います。同時に、法人内での情報発信・組織活性にも取り組んでいきます。（稻葉）

当法人にお世話になり一年半の門外漢の私が、部会長の頭の中のくじ引き（？）にて広報部員に選ばれた挙句（笑）、事業所紹介の取材に同行しろと無茶ぶりされた事で不思議な縁を感じることになりました。今回取材させて頂いた企業様は、何と前職時代の35年前に何度もお邪魔した事のある企業様なのです。これは時を超えた繋がりだったのでしょうか。（神谷）

今回の特集十人十色＆三社三色はいかがだったでしょうか。ダイバーシティ（多様性）がうたわれる昨今、私たち一人一人が自分自身の、そして他者の色を大事にしていきましょう。（静）

新たに広報部メンバーに加わり、初めての連続でしたが、取材や原稿作成にご協力いただいた皆様のお陰で、あくていぶ新年号を発行できました。微力ではありますが広報部員として情報発信に努めて参ります。（福本）